



## 市民公開講座「膵臓がん ～早期発見の取り組み～」を オンライン配信します

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター（横浜市戸塚区原宿 3-60-2、院長 鈴木宏昌）では、「神奈川県がん診療連携指定病院」として、がん診療の地域連携や市民啓発を推進しています。

このたび、膵臓がんの早期発見についての啓発のため、市民公開講座をオンライン配信します。いつでもどなたでも視聴できますので、ぜひご覧ください。



### <配信内容>

#### 「膵臓がん ～早期発見の取り組み～」

がんで亡くなる方のうち部位別で4番目に多い「膵臓がん」は、5年生存率が8.5%ととても厳しい病気ですが、ステージ0で発見された場合の5年生存率は85.8%とされており、早期発見が極めて重要な病気です。しかし初期の膵臓がんは症状が出にくく、実際にステージ0で発見された患者さんは全体の1%以下となっています。

こうした状況から、膵臓がんの早期発見を少しでも増やすため、当院消化器内科では、「**膵癌早期診断プロジェクト**」を立ち上げ、地域の医療機関から診断結果に一定のリスクがある方をご紹介いただき、膵臓の専門医が高度医療機器を用いて膵臓がんの精密検査を実施しています。また、治療の必要がある病変が発見された場合は、消化器内科・外科を中心とした集学的治療を行います。

上記の取り組みについて、膵臓の専門医である**消化器内科 鈴木雅人医師**が動画でご紹介します。

### <視聴方法>

横浜医療センター公式YouTubeチャンネル ([https://www.youtube.com/watch?v=sewJVNbDd\\_Q](https://www.youtube.com/watch?v=sewJVNbDd_Q))

から、いつでもどなたでもご覧いただけます。



### 【参考】がんの死亡数の順位（2020年）

1位	肺
2位	大腸
3位	胃
4位	<b>膵臓</b>
5位	肝臓

出典：国立がん研究センター



お問い合わせ先：独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター  
管理課庶務係長 愛敬（あいけい） Tel：045-851-2621